【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】令和5年12月25日(2023.12.25)

【公開番号】特開2023-130423(P2023-130423A)
【公開日】令和5年9月20日(2023.9.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-177
【出願番号】特願2023-108711(P2023-108711)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ 35/02(2006.01)
Ｂ０１Ｊ 35/10(2006.01)
Ｂ０１Ｊ 23/847(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 5/16(2006.01)
Ｃ０９Ｄ201/00(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 7/61(2018.01)
Ｃ０９Ｄ 7/62(2018.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ 35/02 Ｊ
Ｂ０１Ｊ 35/10 ３０１Ｊ
Ｂ０１Ｊ 35/10 ３０１Ｇ
Ｂ０１Ｊ 23/847 Ｍ
Ｃ０９Ｄ 5/16
Ｃ０９Ｄ201/00
Ｃ０９Ｄ 7/61
Ｃ０９Ｄ 7/62

【手続補正書】
【提出日】令和5年12月15日(2023.12.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
可視光応答型光触媒を含有し、前記可視光応答型光触媒が、酸化チタン（ａ）に金属化合物が担持されたものであり、前記可視光応答型光触媒におけるチタン１００に対するジルコニウムの含有比（Ｚｒ/Ｔｉ比）が、０．０３～０．８であり、前記可視光応答型光触媒におけるチタン１００に対するニオブの含有比（Ｎｂ/Ｔｉ比）が、０．０５～０．８であることを特徴とするセルフクリーニング剤。
【請求項２】
前記酸化チタン（ａ）が、ルチル型酸化チタン（ａ１）を含むものである請求項１記載のセルフクリーニング剤。
【請求項３】
前記金属化合物が、２価銅化合物である請求項１又は２記載のセルフクリーニング剤。
【請求項４】
前記酸化チタン（ａ）のＢＥＴ比表面積が、１～２００m^2／ｇである請求項１～３のいずれか１項に記載のセルフクリーニング剤。
【請求項５】
前記可視光応答型光触媒におけるチタン１００に対するジルコニウムの含有比（Ｚｒ／Ｔ

ｉ比）が、０．０５～０．３である請求項１～４のいずれか１項に記載のセルフクリーニング剤。
【請求項６】
前記可視光応答型光触媒におけるチタン１００に対するニオブの含有比（Ｎｂ／Ｔｉ比）が、０．１～０．３である請求項１～５のいずれか１項に記載のセルフクリーニング剤。